

令和 8 年 6 月 1 0 日

東伊豆町議会議長 栗原 京子 様

文教厚生常任委員会
委員長 西塚 孝男

文教厚生常任委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第 7 7 条の規定により報告します。

別 紙

1 調査事件

学校統合について

2 調査の経過

(1) 会議回数、月日、場所、出席委員等

ア. 第1回 9月10日(水) 役場4階 第一委員会室

出席委員

3番 楠山 節雄 5番 笠井 政明

7番 栗原 京子 8番 西塚 孝男

11番 村木 脩 14番 山田 直志

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長 村木 善幸

議会事務局書記 相馬 奨

イ. 第2回 9月18日(木) 役場4階 第一委員会室

出席委員

3番 楠山 節雄 5番 笠井 政明

7番 栗原 京子 8番 西塚 孝男

11番 村木 脩 14番 山田 直志

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長 村木 善幸

議会事務局書記 相馬 奨

ウ. 第3回 11月18日(火) 役場4階 第一委員会室

出席委員

3番 楠山 節雄 5番 笠井 政明

7番 栗原 京子 8番 西塚 孝男

11番 村木 脩 14番 山田 直志

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長 村木 善幸

議会事務局書記 相馬 奨

エ. 第4回 11月20日(木) 役場4階 第一委員会室

出席委員

5番 笠井 政明 7番 栗原 京子

11番 村木 脩 14番 山田 直志

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長 村木 善幸

議会事務局書記 相馬 奨

オ. 第5回 12月1日(月) 役場4階 第一委員会室

出席委員

5番 笠井 政明 7番 栗原 京子

8番 西塚 孝男 11番 村木 脩

14番 山田 直志

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長 村木 善幸

議会事務局書記 相馬 奨

カ. 第6回 12月17日(水) 役場4階 第一委員会室

出席委員

3番 楠山 節雄 5番 笠井 政明

7番 栗原 京子 8番 西塚 孝男

11番 村木 脩 14番 山田 直志

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長 村木 善幸

議会事務局書記 相馬 奨

キ. 第7回 1月15日(木) 役場4階 第一委員会室

出席委員

3番 楠山 節雄 5番 笠井 政明

7番 栗原 京子 8番 西塚 孝男

11番 村木 脩 14番 山田 直志

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長 村木 善幸

議会事務局書記 相馬 奨

ク. 第8回 2月24日(火) 役場4階 第一委員会室

出席委員

5番 笠井 政明 7番 栗原 京子

8番 西塚 孝男 14番 山田 直志

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長 村木 善幸

議会事務局書記 相馬 奨

ケ. 第9回 5月12日(火) 役場4階 第一委員会室

出席委員

3番 楠山 節雄 5番 笠井 政明

7番 栗原 京子 8番 西塚 孝男

11番 村木 脩 14番 山田 直志

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長 村木 善幸

議会事務局書記 相馬 奨

3 調査に至る経緯

平成28年度に大川小学校の熱川小学校への統合が行われ、平成29年度に学校教育環境整備委員会から答申が出され、令和4年度に学校教育環境整備委員会から再度の答申が出されたが、学校統合について目に見える進展はなかった。

そこで、保護者のみなさんの声を聞き停滞している学校統合を進めるために現状と課題を把握することとした。

4 保護者アンケートの概要

委員会では、町内の幼児、認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の保護者に、webで学校統合に関するアンケートを行いました。

保護者から185件の回答を得ました。

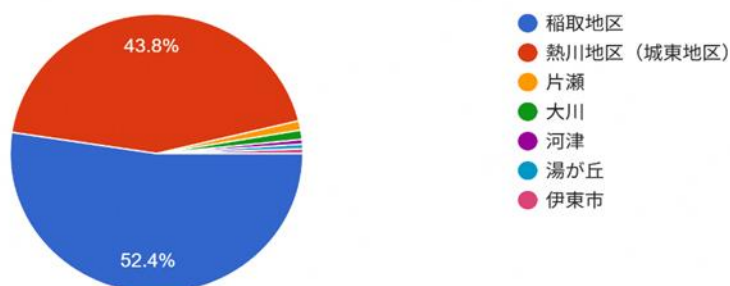
アンケート結果は、保護者の声は膨大な数寄せられましたが、報告書では紙面の都合上、設問に対する声を集約したものです。

アンケート結果、保護者からの声はHPから見る事が出来ます。

アンケート設問に対する声

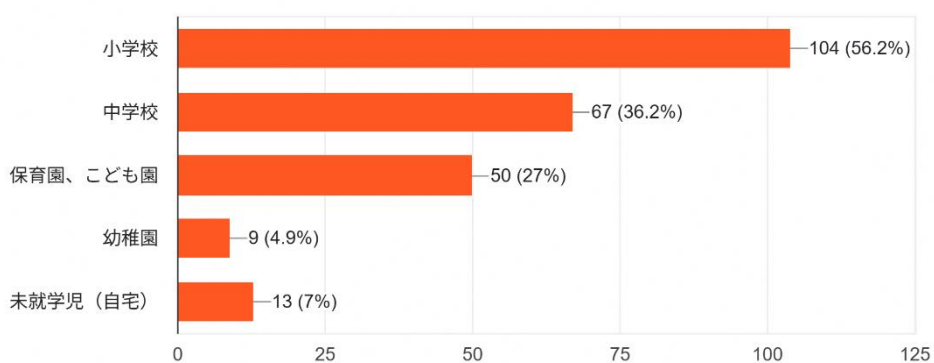
お住いの地区はどちらですか

185 件の回答



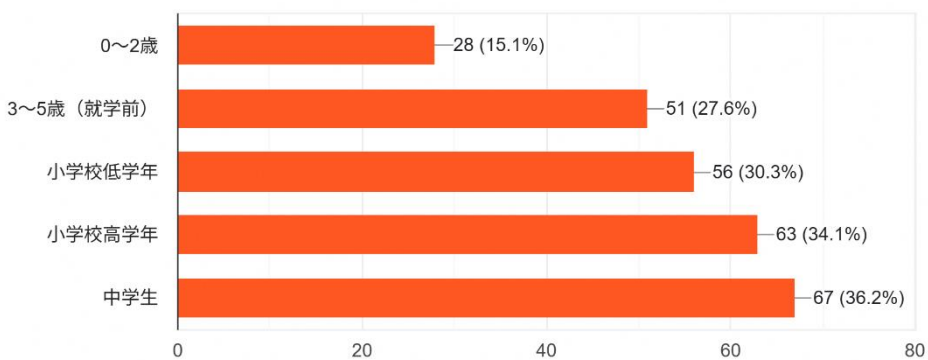
お子さんの在籍・在園状況 (複数回答可)

185 件の回答



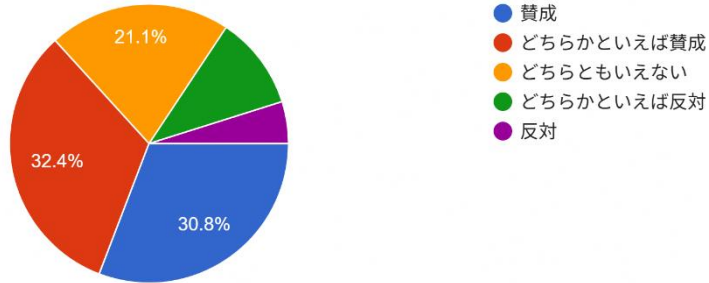
お子さんの年齢・学年 (複数回答可)

185 件の回答



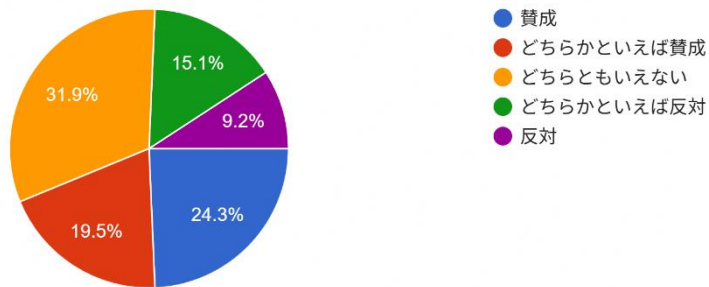
4校統合についてどう思いますか？

185 件の回答



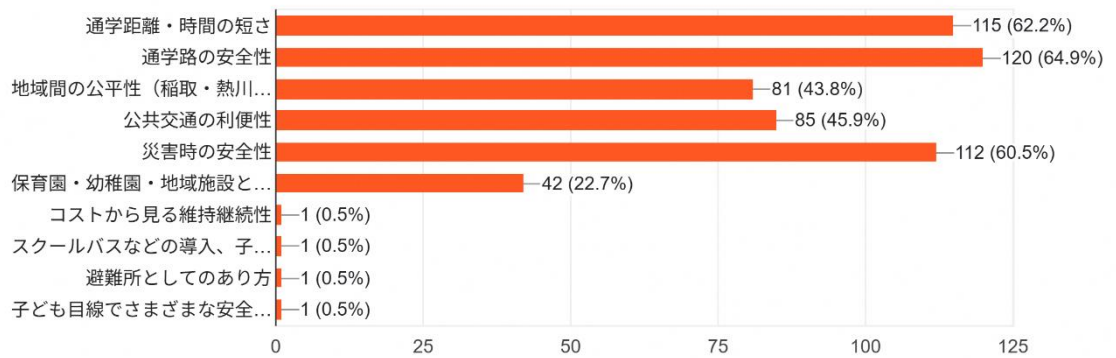
統合校の場所として「熱川中学校」が示されたことについてどう思いますか？

185 件の回答

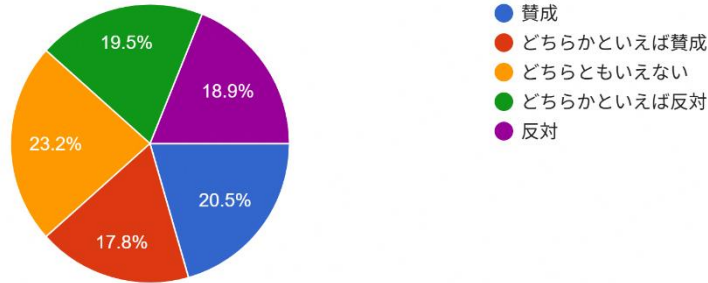


統合校の場所を決めるうえで重視する点はどこですか（複数回答可）

185 件の回答

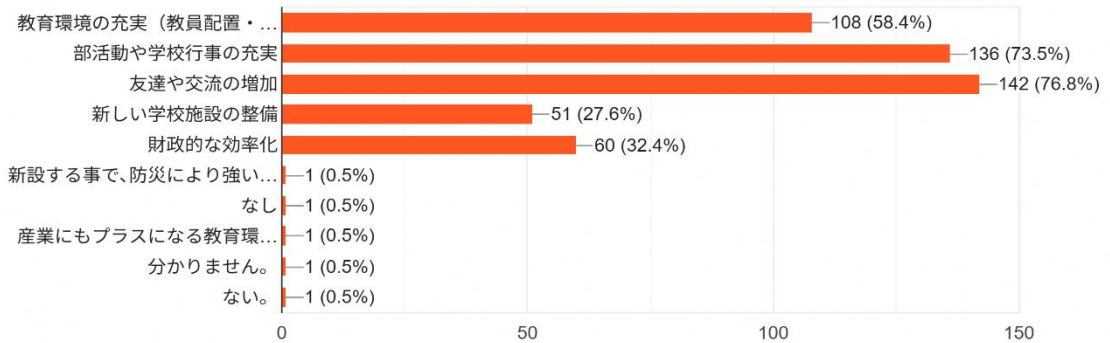


通学に関しては、伊豆急行を使用して片瀬白田駅...すが、この計画に対してどのように思いますか？
185 件の回答



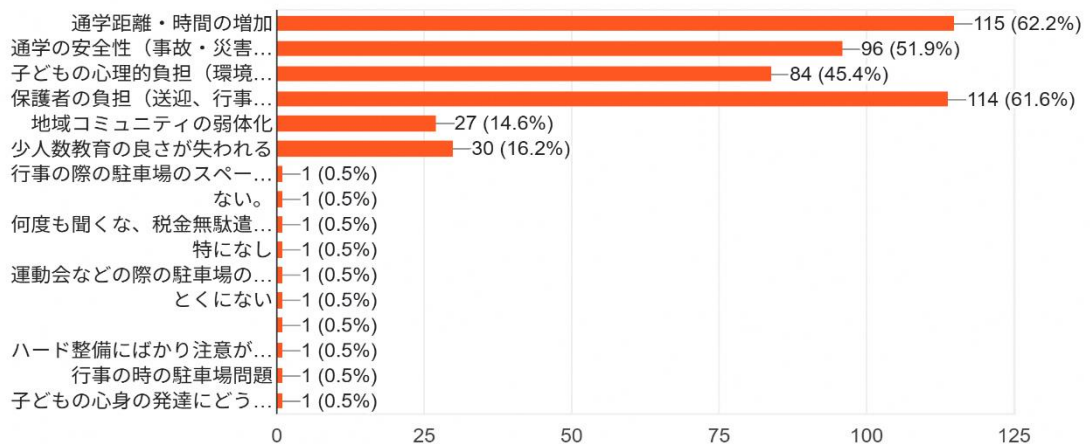
統合によって「よい」と思う点（複数回答可）

185 件の回答



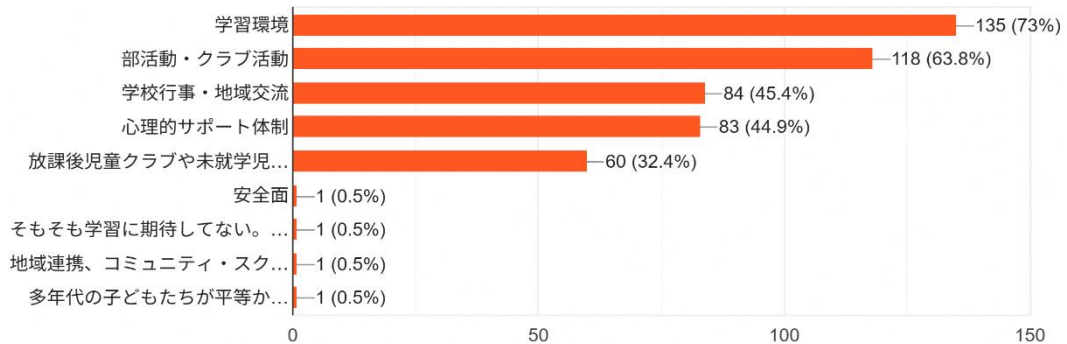
統合によって「不安」と思う点（複数回答可）

185 件の回答



子どものために特に充実してほしい分野（複数回答可）

185件の回答



5 町への提言

文教厚生常任委員会では、町の学校統合の取り組みを聞き、保護者のアンケートを行った。また、委員会では、働き方改革と教育の充実に取り組む茨城県守谷市、保育園から一貫して英語教育に取り組む茨城県境町に視察研修してきた。

委員会では、保護者の声を基礎に、協議を重ねて現状の課題への対応について、以下のとおり提言をまとめた。

1. 学校統合の進め方に対する提言

① 中学校の先行統合を進めること

中学校の先行統合を行い、校舎整備等を集中して行うことで統合の計画が目に見えて進展するなどの効果が期待できる。

② 稲取地区も通学はスクールバスで対応すること

町が提案している電車とスクールバス併用の通学手段は、駅まで（自宅⇄駅）の送迎による保護者の負担と稲取駅周辺の交通渋滞発生、片瀬白田駅の無人化による安全性リスク、加えて気象状況により運休となる電車運行では安全で確実な通学方法とは言えない。

スクールバスでの通学は、保護者の強い要望でもある。

③ 新設か既存施設の活用か透明性のある比較検討を

学校校舎をどうするのかは、大問題である。そもそも耐用年数に近づいている現施設の活用は経費を低く抑えるメリットもあるが、新しい機能

などに対応できないなどのデメリットもある。今後必要となる校舎規模は大幅に縮小も見込まれることから、新設の検討も必要であるが、その際、透明性のある比較検討を行い開示することを求める。

④ 適正な規模の駐車場の確保を

学校行事の際は、町内全域から保護者が自動車等で学校に来ることになるので、運動場の一部開放だけでは対応できない。

災害時の活用も勘案して駐車場の確保整備を行うこと。

⑤ 幼少中高一校一貫的教育への提言

町は、幼少中高一校一貫的教育を掲げているが、取り組みの内容など明らかになっていない。高校の整備は基本設計に入れなくて進めること。

一貫的教育の内容については、県の方針を確認して対応すること。

⑥ 統合までの日程の明確化と保護者・住民に対する説明を求める

これまで学校統合に関しては、統合までのスケジュールが不明確であった。今後は、基本構想、基本計画などが相次いで策定される。学校は子どもたちだけでなく地域の全員のものでもあるので、段階を進めるときは保護者・町民にも説明をする機会を設けること。

2. 新たな学校に期待する提言

① 教員の働き方改革と教育の充実を町として取り組むこと。

1 週25コマ（1日5時間）の授業で学校運営を行うこと。

児童生徒の負担軽減と諸行事など学校運営準備などと通学が全町に及ぶことから、通学バスからの徒歩での帰宅など考慮すると5時間授業が必要と考える。

2 理科・図工（美術）・音楽の教科専任教諭の配置を行うこと。

担任の先生の負担を軽減し、授業準備、保護者対応、校務を行い、残業を減らして、授業に集中することでよりよい授業の実現を目指す。

② 英語教育を幼・小中学校で、学校教育の中心的課題に位置付けを行うこと。

③ 不登校や発達に特性のある児童生徒、障害児等の教育に配慮した施設整備を行うこと。

- ④ 自校方式の給食センターの併設と新しい給食提供の在り方を検討すること。

毎日おいしい給食を提供している学校給食センターも建設から25年を迎える。年ごとに老朽化が進み、修繕費がかかる。搬送経費は大きな課題である。自校方式で温かく美味しい給食を提供すること、給食提供の在り方、食堂・食器なども検討すること。

- ⑤ 地域に根差した運営の在り方を検討し確立すること。

以上、2点11項目を提言する。

委員会の提言が、今後の学校統合に生かされることを強く要望する。